

資料収集委員会議事要旨

日時 令和4年9月21日（水）13時25分～14時10分
場所 岐阜関ヶ原古戦場記念館 3階セミナールーム
参加者 4名（古文書2名、刀剣2名）

<発言要旨（古文書）>

【①石田三成書状】

- ・岐阜で石田三成の書状を見ることは滅多にない。内容も文字も良い。
- ・箱書きがあり、出所もはっきりしていることから価値が高い。

【②稲葉貞通書状】

- ・中身が詳細で面白い。
- ・稲葉貞通の書状は珍しい。書風から祐筆ではなく自筆で間違いないだろう。

【③徳川家康書状】

- ・文句なく良い文書だと思う。
- ・薬院は、武将の間を取り持つ動きをしている人物。他の大名の手紙でも薬院の名前がでてくるので、面白い資料だと思う。

【①・②・③】

- ・記念館が収集するにふさわしい資料だと考える。

<発言要旨（刀剣）>

【①刀（日本善清堯（野田繁慶）作）】

- ・繁慶の初期銘は非常に珍しい。
- ・茎が繁慶独特の形状（繁慶の薬研茎）。
- ・銘も繁慶らしい「彫り鑿（たがね）」を用いている。
- ・この時代の資料としては大変貴重で収集する価値がある。

【②刀（備前国住長船与三左衛門祐定）作】

- ・戦国期を代表する刀工。大変な迫力の中に品格もあり、非常に良い刀。

- ・長さが 2 尺 3 寸もあり当時の一般的な刀（2 尺前後）と比べて長い。大切にされていた刀だろう。
- ・昭和 2 6 年の登録が始まってすぐ出た刀と思われる。この時期の刀は大名家のものが多く、名刀が多い。
- ・物打の辺りに祐定特有のカニの爪も表れている。注文打ちで丁寧に作られた刀である。

【①・②】

- ・記念館が収集するにふさわしい資料だと考える。